

# ゼミ発表について

桂田 祐史

2026年5月8日, 2026年5月8日

- (今さらだけど) **テーマの選択が鍵**。次の条件を満たすか考える。
  - 数学または現象数理学に関係がある
  - 自分が興味を持っている
  - ほどほどの難しさ (難しすぎない、やさしすぎない)
  - 良い資料がある (**重要**)(日頃から気をつけている人が強い、3年生以降のゼミのために準備しよう。)
- 本当はお試し期間が必要だけど、今回はとりあえず。  
(やってみているうちに興味が出て来るのが本当かもしれない。難しさもやってみないと分からないし。複数のテーマを試してみるつもりが良い。卒業研究ならば途中でテーマ変更もありえる。運もある。)
- 参考にする資料が良いかどうかの見極めが必要。  
教科書とは違う。特にネットで入手したものは玉石混交と考えること。自分で判断できないときは、面倒がらずに相談してください。
- 探し方 — なるべく多くの手段を使う。
  - ネットで検索 (Google で検索、アマゾンで検索、図書館 Opac で検索)  
「明治大学図書館 OPAC」<sup>1</sup> — これは使い慣れておくこと
  - 人に尋ねてみる, AI に尋ねてみる
  - 本があるところで色々見る (図書館、大型書店)  
限定的だけれど「明治大学で読める数学関係の電子書籍」<sup>2</sup>
  - 特に資料を読んでいるとき、参考文献表に載っているものは**とりあえず探す** (図書館にあるか、書店で購入できるか、誰かに借りられるか等)。
  - **日本語だけでなく、英語でも探す**  
「ウィキペディアと Wikipedia は違う。」  
「野球で見つからなくても baseball なら見つかるかも」
- 発表資料を作る前に、テーマについてよく調べる。それがメインで、発表の準備自体は全体のわずかな部分のはず。  
(発表資料を作りながら調べるのは、ちょっとおかしい)

<sup>1</sup>[https://www-std01.ufinity.jp/meiji/?page\\_id=13](https://www-std01.ufinity.jp/meiji/?page_id=13)

<sup>2</sup><https://nalab.mind.meiji.ac.jp/ebook/>

- 参考にする資料の参考文献表をすぐにチェックし、入手手段を検討し、必要ならば早めに入手する。  
(ネットで見られるものはその場で保存する。最低限ブックマークする。本は図書館で借りられるものは借り、売っているものは「購入してもらえませんか？」尋ねる—桂田とか図書館とか)。

- レポートの分量は制限がゆるいけれど (私のゼミでは好きなだけ書けば良い)、発表は時間が限られていることが多い。  
だから、**発表には詰めこみ過ぎない**こと。内容は自分で考えて絞る。  
特に今回はレポート提出がゴールなので、

「私は〇〇について研究・調査して…、**今日はそのうちの□□について説明します。**」

のように話して良い。話せなかったことはレポートに書ける。

- 発表は PowerPoint のようなプレゼン・ソフトでするのが良いとは限らない。自分の発表には、何を使うのが良いか考えること。
- プレゼン・ソフトならば、**スライド1枚1分以上話す**、が目安。  
話す時間から何枚程度用意すべきか大まかに計算できる。
- プレゼン・ソフトでも、ホワイトボードでも、きちんとした文章を書く必要はない (書かない方が読みやすいかも)。
- 話の構成を考える (レポートの構成と同様)。

1. タイトル

2. イントロ (≒テーマの説明)

話の目的やあらすじ、結論 (のまとめ) を話しても良い。

(順番に話して最後に結論、というのは実はあまり勧めない。)

3. メイン

4. まとめ (「結論」とか「結び」とか) はほぼ必須。

話全体を振り返る。結論、残された課題など。

スライドならば1枚、箇条書きで良い。

5. 参考文献表

- **大事なことは書こう。**  
言葉や記号の定義、仮定、法則、その実験・調査から分かること、結論など。サボる人が案外と多い。
- スライドの場合、終了後、「まとめ」または「参考文献表」を映しておくのがオススメ。  
(余談) たまに参考文献表を3秒で済ませて (それじゃ読めない!)、「ご静聴ありがとうございました」だけのスライドを映しておく人がいるけれど、もったいない。「ご静聴…」はまとめのスライドの最後にでもつければよい。
- タイトルと参考文献表は事前に (発表の前日まで) 連絡すること。  
ネット資料は URL があれば皆が見られるので、そうできるようにしておきたい。
- 桂田が役に立つとも限らないけれど、気軽に質問・相談しよう。  
メールや LINE ですか、アポイント取って Zoom で話しましょう。